住友商事

2017年度決算

2018年 5月 8日

住友商事株式会社

将来情報に関するご注意

本資料には、当社の中期経営計画等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣が中期経営計画を成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であります。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

1. 2017年度 実績

住友商事

(単位:億円)	2016年度 実績 ①	第1四半期 単独	第2四半期 単独	第3四半期 単独	第4四半期 単独	2017年度 実績 ②	前期比 ②-①
当期利益	**1,709**	**782**	**771**	**976**	**556**	**3,085**	**+1,376**
基礎収益 (除、減損損失) *1	**2,267**	**774**	**743**	**809**	**912**	**3,237**	**+971**
資源ビジネス*2	161	136	146	194	279	755	+594
鋼管事業*2	△125	24	15	20	△11	47	+173
その他非資源	2,231	615	581	595	644	2,435	+204
一過性損益	約 △460	約+60	約 +90	約+220	約△140	約 +230	約 +690

〈 2017年度実績の概要（前期比）〉

- ■ 資源ビジネス ： ✓ 資源価格上昇の影響等により増益
- ■ 鋼管事業 ： ✓ 北米鋼管事業 収益改善
- ■ その他非資源 ： ✓ リース事業、建機販売 及び 建機レンタル事業 堅調
  ✓ メディア・生活関連の国内主要事業会社 及び 不動産事業 堅調
  ✓ 電力EPC案件 建設進捗
- ■ 一過性損益 ： ✓ (当期) 米国税制改正の影響（約+210億円）
  資産入替に伴う一過性利益あり
  インドネシア商業銀行 減損損失（△151億円） 等
  ✓ (前期) チリ銅・モリブデン事業における減損損失（△336億円）
  ボリビア銀・亜鉛・鉛事業 税引当 等 あり

*1 基礎収益＝(売上総利益+販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額)+利息収支+受取配当金)×(1-税率)+持分法による投資損益
除、減損損失： (前期) チリ銅・モリブデン事業 △336億円、 (当期) インドネシア商業銀行 △151億円
*2 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

(参考) 主要指標		2016年度 実績	2017年度 実績
為替〈YEN/US$〉		108.38	110.85
金利	LIBOR 6M(YEN)	0.01%	0.01%
	LIBOR 6M(US$)	1.20%	1.66%
銅※	(US$/MT)	4,863	6,163
亜鉛	(US$/MT)	2,367	2,931
ﾆｯｹﾙ	(US$/lb)	4.55	5.06
鉄鉱石※	(US$/MT)	59	71
石炭	原料炭 (US$/MT)	165	198
	一般炭 (US$/MT)	78	94
原油	Brent※ (US$/bbl)	44	54
	WTI (US$/bbl)	48	54

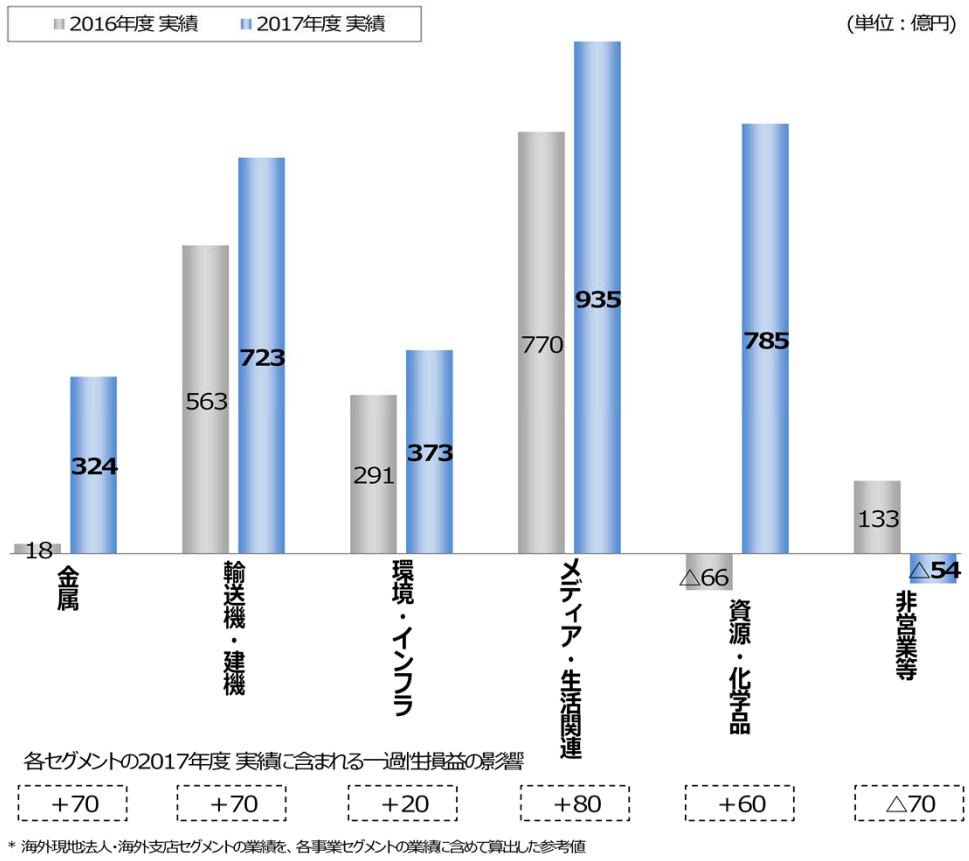
※印の商品は1-12月、その他の商品は4-3月の価格を記載
＊ 原料炭…市場情報に基づく一般的な取引価格

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

- ➢ 2017年度当期利益：3,085億円（前期比：＋1,376億円）
  - ✓ 2011年度の2,507億円を上回る過去最高益
- ➢ 基礎収益：3,237億円（前期比：＋971億円）
  - ✓ **資源ビジネス：大幅に増益**
    - ・価格上昇の影響　等
      （ボリビア銀・亜鉛・鉛事業や南アフリカ鉄鉱石事業が堅調）
  - ✓ **鋼管事業：収益改善**
    - ・米国でリグカウントの緩やかな増加
  - ✓ **その他非資源ビジネス：増益**
    - ・リース事業や建機事業、メディア・生活関連の国内主要事業会社や不動産事業などのコアビジネスが堅調に推移
    - ・電力EPC案件の建設進捗
- ➢ 一過性損益：前期比 約+690億円
  - ✓ 前期：約△460億円
    - ・ シエラゴルダ銅・モリブデン事業の減損損失など
  - ✓ 当期：約+230億円
    - ・ 第4四半期にインドネシア商業銀行への投資にかかる減損損失（△151億円）があった一方、米国税制改正や資産入替に伴う一過性利益あり

2. 2017年度 セグメント別当期利益 実績（グローバルベース*）

住友商事



＊ 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、各事業セグメントの業績に含めて算出した参考値

〈 セグメント別業績概要 〉

【2017年度 実績の概要】

■ **金属**
- ✓ 北米鋼管事業 収益改善
- ✓ 海外スチールサービスセンター事業 堅調
- ✓ 資産入替に伴う一過性利益あり

■ **輸送機・建機**
- ✓ リース事業 堅調
- ✓ 船舶事業 市況回復基調
- ✓ 建機販売 及び 建機レンタル事業 好調

■ **環境・インフラ**
- ✓ 海外発電事業 堅調
- ✓ 大型EPC案件 建設進捗

■ **メディア・生活関連**
- ✓ 国内主要事業会社 及び 不動産事業 堅調
- ✓ 資産入替に伴う一過性利益あり

■ **資源・化学品**
- ✓ ボリビア銀・亜鉛・鉛事業、南アフリカ鉄鉱石事業 堅調
- ✓ 前期 一過性損失あり
- ✓ 当期 一過性利益あり

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

【セグメント毎の当期利益】

- 全てのセグメントで前期比増益
  - ✓ コアビジネスが堅調に推移

3. キャッシュ・フロー／財政状態

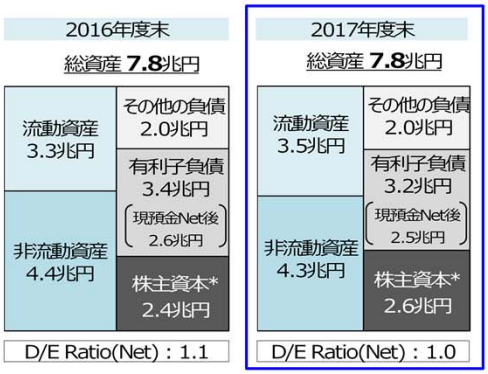
住友商事

● キャッシュ・フロー実績

(単位：億円)	2016年度	2017年度
営業活動	+3,458	+2,953
投資活動	△1,807	△1,558
フリーキャッシュ・フロー	+1,651	+1,395
<キャッシュ・イン>		
基礎収益キャッシュ・フロー*	+2,106	+2,739
減価償却費	+1,143	+1,189
資産入替による回収	約 +1,800	約 +1,800
その他の資金移動	約 ±0	約 △1,500
<キャッシュ・アウト>		
投融資実行	約 △3,400	約 △2,800

＊ 基礎収益キャッシュ・フロー＝基礎収益－持分法による投資損益＋持分法投資先からの配当

● 財政状態



＊ 株主資本…資本の内、「親会社の所有者に帰属する持分合計」
内、「在外営業活動体の換算差額」：1,576億円→806億円、「FVTOCIの金融資産」：1,730億円→1,898億円

〈 2017年度実績の概要 〉

■ 基礎収益キャッシュ・フロー
- ✓ コアビジネスが着実にキャッシュを創出
- ✓ 持分法投資先からの配当 (1,149億円)

■ 資産入替による回収
- ✓ 欧州自動車金融事業 売却
- ✓ 米国オフィスビル 一部売却 等

■ その他の資金移動
- ✓ 運転資金の増加 等

■ 投融資実行
- ✓ 米国ジェネリック製薬事業/ブラジル水事業 等

〈 2017年度実績の概要 〉

■ 総資産 +88億円
(77,618億円→77,706億円)
- ✓ 営業債権増加
- ✓ 棚卸資産増加
- ✓ 円高による減少 等

■ 株主資本 +1,917億円
(23,665億円→25,582億円)
- ✓ 当期利益の積み上げ
- ✓ 配当金の支払い 等

	2016年度末	2017年度末
為替 (YEN/US$)	112.19	106.24

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

【キャッシュ・フロー実績】

- 2017年度フリーキャッシュ・フロー：1,395億円のキャッシュ・イン
  - ✓ 基礎収益キャッシュ・フロー：+2,739億円
    ・コアビジネスが着実にキャッシュを創出
  - ✓ 資産入替：+約1,800億円
  - ✓ その他の資金移動：約△1,500億円
    ・ビジネス伸長に伴う運転資金増
  - ✓ 投融資実行：約△2,800億円
    ・米国ジェネリック製薬事業やブラジル水事業への参画など

【財政状態】

- 総資産：7兆7,706億円（前期末比+88億円）
  - ✓ 前期末からほぼ横ばい：営業債権や棚卸資産などの増加の一方、円高による資産減少の影響あり
- 株主資本：2兆5,582億円（前期末比+1,917億円）
  - ✓ 主に当期利益の積み上げによる増加

4. 2017年度 年間配当金

住友商事

基本方針	長期にわたり安定した配当を行うことを基本方針としつつ、 中長期的な利益成長による1株当たりの配当額増加を目指す。
BBBO2017 配当方針	年間配当金50円/株を下限とし、連結配当性向25%以上を目安に、 基礎収益やキャッシュ・フローの状況等を勘案の上、配当額を決定。

配当金

	第3四半期時点 （2018年2月）	**今回 （2018年5月）**
当期利益	3,000億円	**3,085億円**
年間配当/株 （中間/期末）	60円 （28円/32円）	**62円** （28円/**34円**） （予定）

当期利益 3,085億円に連結配当性向25%を適用。

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

【2017年度配当について】

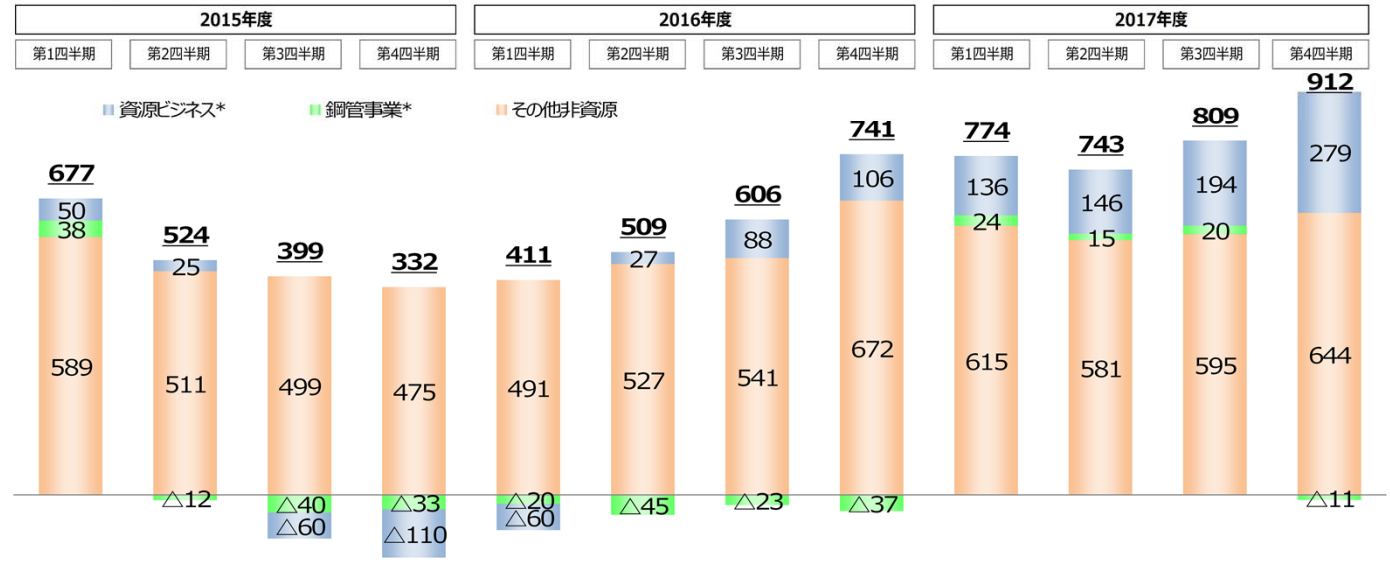
- 年間配当金：1株当たり62円を予定
  - ✓ 当期利益3,085億円に対し連結配当性向25%を適用
- 期末配当金：34円（中間配当金は28円）

5. BBBO2017 総括（当期利益／基礎収益）

住友商事

	当初計画（2015年5月）	実績		
	2017年度	2015年度	2016年度	2017年度
当期利益	3,000億円以上	745億円	1,709億円	3,085億円
基礎収益（除、減損損失）	3,000億円以上	1,932億円	2,267億円	3,237億円

<基礎収益(除、減損損失)の四半期推移>



＊ 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

【BBBO2017（当期利益/基礎収益）】

- 当初計画：
  2017年度当期利益及び基礎収益ともに3,000億円以上

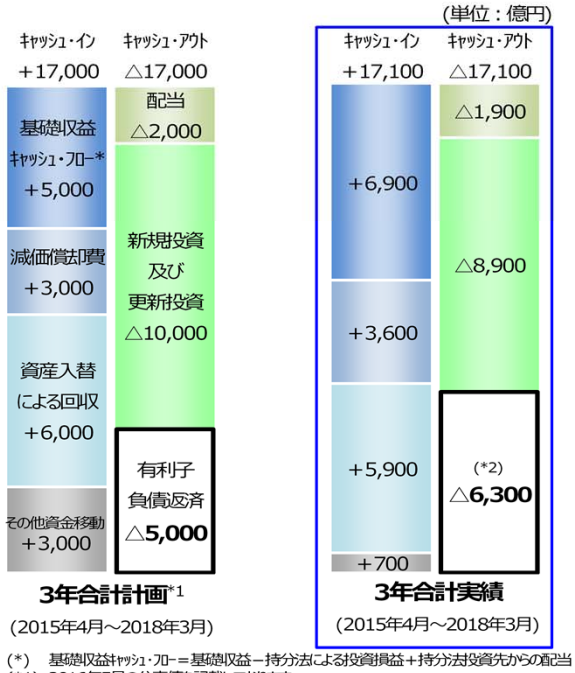
- 稼ぐ力は着実に伸長
  ⇒足下の基礎収益は四半期で800億円を超える水準

6. BBBO2017 総括（ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ）

住友商事

	当初計画（2015年5月）	修正計画（2016年5月）	実績
3年合計 配当後ﾌﾘｰｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ	黒字確保	＋5,000億円	＋6,300億円

（単位：億円）



〈 3年累計実績の主な内容 〉

■ 基礎収益ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ

・ｺｱﾋﾞｼﾞﾈｽが着実にｷｬｯｼｭを創出

2015年度 2,043億円 → 2016年度 2,106億円 → 2017年度 2,739億円

■ 資産入替による回収

・再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ発電事業 ﾊﾞﾘｭｰ実現
・国内外不動産 ﾊﾞﾘｭｰ実現
・ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ﾊﾞｯ･ﾋｼﾞｬｳ銅金鉱山 権益売却

■ 新規投資及び更新投資

・ｱｲﾙﾗﾝﾄﾞ青果物生産･卸売企業（Fyffes社）
・国内外不動産事業
・ﾏﾀﾞｶﾞｽｶﾙﾆｯｹﾙ事業

(*) 基礎収益ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ＝基礎収益－持分法による投資損益＋持分法投資先からの配当
(*1) 2016年5月の公表値を記載しております。
(*2) 配当後ﾌﾘｰｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ累計実績のﾏｲﾅｽ値を記載しております。

6

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

【BBBO2017 （キャッシュ・フロー）】

- 配当後フリーキャッシュ・フロー（3年合計）：+6,300億円
  - ✓ 財務健全性を確保すべく、稼いだキャッシュの範囲内で投資と配当を実行

    ⇒配当後フリーキャッシュ・フローは計画値を上回る
  - ✓ 配当後フリーキャッシュ・フローを有利子負債返済に充当

- 基礎収益キャッシュ・フロー（3年合計）：+6,900億円
  - ✓ 単年毎でもキャッシュベースでの稼ぐ力は着実に伸長

7. BBBO2017 総括（主要経営指標）

住友商事

	BBBO2017 開始時	BBBO2017 終了時	3年増減
	（2015年3月末 実績）	（2018年3月末 実績）	
総資産	9兆214億円	7兆7,706億円	約 △1兆2,500億円
（主な増減要因）		円高による減少	約 △4,400億円
		営業債権や棚卸資産の減少	約 △2,700億円
		インドネシア自動車金融事業再編に伴う減少	約 △2,200億円
株主資本	2兆4,814億円	2兆5,582億円	約 ＋800億円
（主な増減要因）		当期利益	約 ＋5,500億円
		配当支払い	約 △1,900億円
		円高による減少	約 △2,900億円
有利子負債(Net)	3兆5,175億円	2兆5,215億円	約 △1兆円
（主な増減要因）		創出したキャッシュによる返済	約 △6,300億円
		インドネシア自動車金融事業再編に伴う減少	約 △2,000億円
		円高による減少	約 △1,800億円
DER(Net)	1.4倍	1.0倍	0.4pt改善
リスクアセット[RA]	2兆4,600億円	2兆3,600億円	△1,000億円
コア・リスクバッファー[RB]*	2兆3,200億円	2兆3,900億円	＋700億円
(コアRB-RA)	(△1,400億円)	(＋300億円)	バランス回復
	（当初計画（2015年5月））		
ROA	2017年度 3.0%以上	2017年度 4.0%	
ROE	2017年度 10.0%程度	2017年度 12.5%	

＊ コア・リスクバッファー＝資本金+剰余金+在外営業活動体の換算差額-自己株式

7

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

【BBBO2017（主要経営指標）】

（2015年3月末から3年間の増減）

- ネットDER:1.0倍（0.4ポイント改善）
  - ✓ 株主資本：約+800億円
    - ・利益の積み上げ等
  - ✓ネット有利子負債：約△1兆円
    - ・配当後フリーキャッシュ・フロー約6,300億円を返済に充当
- コア・リスクバッファーとリスクアセットのバランス：回復
  - ✓ 資産削減によるリスクアセットの減少や、利益の積み上げなどにより、2017年度末でバランスを回復
  （cf：2015年3月末時点　△1,400億円の超過）
- 収益性指標は当初計画を上回る水準に改善
  - ✓ROA4%、ROE12.5%（2017年度実績）

8. BBBO2017 総括（経営改革の推進）

住友商事

ガバナンスおよび意思決定プロセスの見直し

- **経営執行におけるプロセスの改善/取締役会の機能強化**
  - ✓ 経営会議を執行レベルの最高意思決定機関化
  - ✓ 取締役会審議基準の見直しによる重要事項の審議・監督機能の強化
  - ✓ 取締役会の構成見直し（社外取締役増員 及び 社外取締役比率の向上）
  - ✓ 指名・報酬諮問委員会の設置
  - ✓ コーポレートガバナンス原則の改定

リスク管理の抜本的見直し・強化

- **大型投資案件の多段階・複数回審議体制整備**
  - ✓ 部門別投融資委員会の設置や、案件着手時/実行時の二段階審議の実施
- **投資実行後のモニタリング体制の見直し**
  - ✓ 「100日プラン」の制度化・実行による投資直後のアクション強化

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

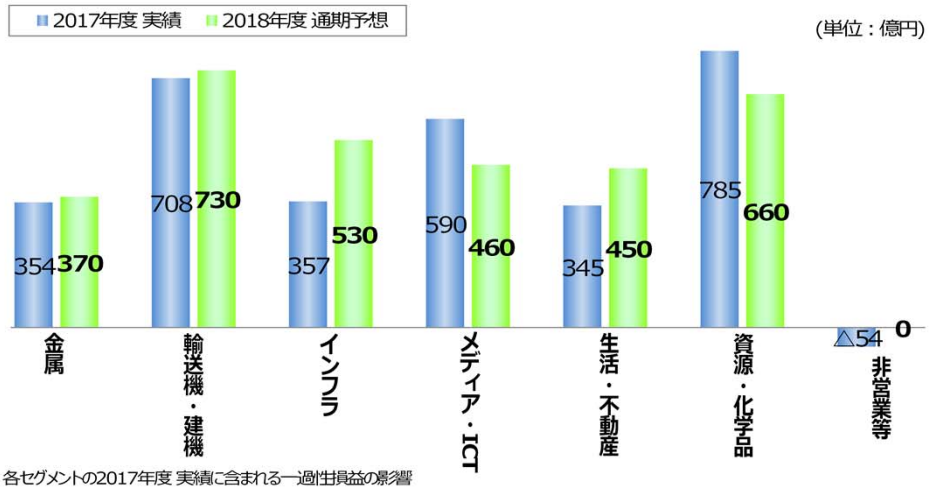
【BBBO2017（経営改革の推進）】

- ガバナンス及び意思決定プロセスの見直しと、
  リスク管理の抜本的見直し・強化について各取り組みを実施
- 引き続きより良い経営体制の構築に取り組む

9. 2018年度 通期予想（当期利益）

住友商事

(単位:億円)	2017年度 実績 ①	2018年度 通期予想 ②	前期比 ②-①
当期利益	3,085	3,200	+115
一過性損益	約 +230	-	約 △230
(一過性を除く業績)	(約 2,850)	(3,200)	(約+350)



各セグメントの2017年度 実績に含まれる一過性損益の影響

+80	+60	+20	+60	+20	+60	△70

＊2018年4月1日付の機構改正に伴い、2017年度実績を組み替えて表示しております

〈 セグメント別業績概要 〉

【2018年度 通期予想の概要】

■ **金属**
- ✓ 北米鋼管事業 収益改善
- ✓ 海外スチールサービスセンター事業 堅調

■ **輸送機・建機**
- ✓ リース事業 堅調
- ✓ インドネシア自動車金融事業 堅調
- ✓ 建機販売 及び 建機レンタル事業 堅調

■ **インフラ**
- ✓ 海外発電事業 堅調
- ✓ 大型EPC案件 建設進捗

■ **メディア・ICT**
- ✓ 国内主要事業会社 設備投資等に伴う費用増

■ **生活・不動産**
- ✓ 不動産事業 堅調
- ✓ 青果事業 市況回復

■ **資源・化学品**
- ✓ ボリビア銀・亜鉛・鉛事業 減益

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

- 2018年度当期利益見通し：3,200億円（前期比+115億円）
  - ✓ 一過性損益
    - ・2017年度：約+230億円
    - ・2018年度：計画なし

  ⇒ 一過性を除く業績：前期比 約+350億円

- セグメント別 2018年度通期予想の概要
  - ✓増益予想：金属事業部門
    輸送機・建機事業部門
    インフラ事業部門
    生活・不動産事業部門
  - ✓減益予想：メディア・ICT事業部門
    資源化学品事業部門

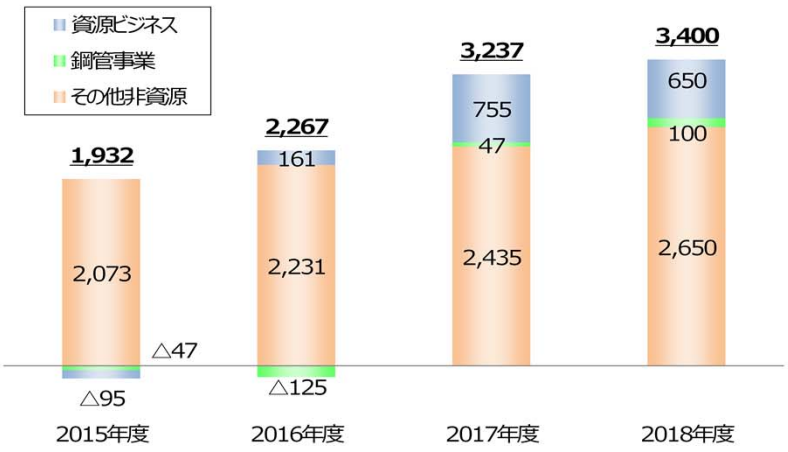
10. 2018年度 通期予想 (基礎収益)

住友商事

(単位:億円)	2017年度 実績 ①	2018年度 通期予想 ②	前期比 ②-①
基礎収益 (除、減損損失) *1	**3,237**	**3,400**	+163
資源ビジネス	755	650	△105
鋼管事業	47	100	+53
その他非資源	2,435	2,650	+215

〈 2018年度通期予想の概要 〉

- ■ 資源ビジネス ： ✓ 資源価格の大幅な変動は見込まず
  ✓ 前期 一過性利益あり
- ■ 鋼管事業 ： ✓ 市況回復に伴う需要増加 等
- ■ その他非資源 ： ✓ 電力EPC案件や不動産事業などを中心に、各部門の主要ビジネス・事業会社が堅調に推移



(参考) 主要指標		2017年度 実績	2018年度 予想
為替 (YEN/US$)		110.85	110.00
金利	LIBOR 6M(YEN)	0.01%	0.05%
	LIBOR 6M(US$)	1.66%	2.65%
銅※	(US$/MT)	6,163	6,482
亜鉛	(US$/MT)	2,931	3,100
ﾆｯｹﾙ	(US$/lb)	5.06	5.52
鉄鉱石※	(US$/MT)	71	65
石炭	原料炭 (US$/MT)	198	190
	一般炭 (US$/MT)	94	86
原油	Brent※ (US$/bbl)	54	60
	WTI (US$/bbl)	54	56

＊ ※印の商品は1-12月、その他の商品は4-3月の価格を記載
＊ 原料炭…市場情報に基づく一般的な取引価格
＊ 為替の影響（予想）…1円/US$の変動で±約11億円

*1 基礎収益=(売上総利益+販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額)+利息収支+受取配当金)×(1-税率)+持分法による投資損益
除、減損損失： (2017年度) インドネシア商業銀行 △151億円

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

- 2018年度基礎収益見通し：3,400億円（前期比+163億円）

- 資源ビジネス：650億円（前期比△105億円）
  - ✓前期一過性利益の反動減など
  - ✓資源価格の大幅な変動は想定していない

- 鋼管事業：100億円（前期比+53億円）
  - ✓米国リグカウントが引き続き堅調に推移し、北米ビジネスの緩やかな回復を見込む

- その他の非資源ビジネス：2,650億円（前期比+215億円）
  - ✓電力EPC案件や不動産事業など、各部門の主要ビジネスが底堅く推移する見込み

Appendix

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

11. 2017年度 一過性損益明細

住友商事

（単位：億円）	実績	主な内容
金属	**+70**	・米国税制改正の影響（約＋60） ・資産入替に伴う一過性利益 ・その他一過性損失 等
輸送機・建機	**+70**	・米国税制改正の影響（約＋130） ・SMFL再編益（約＋60） ・インドネシア商業銀行（BTPN）減損（約△130） 等
環境・インフラ	**+20**	・米国税制改正の影響（約＋10） ・再生可能エネルギー分野における一過性利益 等
メディア・生活関連	**+80**	・米国税制改正の影響（約＋20） ・クオカード売却に伴う一過性利益（約＋60） 等
資源・化学品	**+60**	・資源・エネルギー分野における一過性損益（約＋80） ・化学品分野における一過性利益（約＋20） ・豪州石炭事業における一過性損失 等
非営業等	**△ 70**	・米国税制改正の影響（約△10） ・インドネシア商業銀行（BTPN）減損（約△20） 等
合計	**+230**	

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

12. BBBO2017 セグメント別投資実績

住友商事

（単位：億円）	投資額		主な投資実績
	実績 (15/4-18/3)	3年合計計画* (15/4-18/3)	
金属	**600**	**1,200**	・米国 車軸加工事業 ・欧州 自動車用鍛造部品事業
輸送機・建機	**2,100**	**2,800**	・米国 建機レンタル事業 100%子会社化 ・ブラジル 風力発電向け鍛造品製造・販売事業
環境・インフラ	**1,400**	**1,400**	・ブラジル 水事業 ・欧州 洋上風力発電事業
メディア・生活関連	**2,900**	**2,800**	・アイルランド 青果物生産・卸売企業（Fyffes社） ・国内外不動産事業
資源・化学品	**1,800**	**1,800**	・マダガスカル ニッケル事業 ・米国 ジェネリック製薬事業
(内、上流権益（更新投資）)	**(1,400)**	**(1,400)**	
合計	**8,900**	**10,000**	

＊ 2017年5月の公表値を記載しております。

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

13. BBBO2017 産業分野別投資実績

住友商事

（単位：億円）	投資額		主な投資実績
	実績 (15/4-18/3)	3年合計計画* (15/4-18/3)	
自動車・輸送関連	**2,500**	**3,800**	米国 建機レンタル事業、航空機エンジンリース、 欧州 自動車用鍛造部品事業
生活・情報産業	**2,100**	**1,900**	国内外不動産事業、国内ICT事業 設備投資、 ミャンマー 通信事業 追加投資
社会インフラ基盤	**1,500**	**1,400**	欧州 洋上風力発電事業、ブラジル 水事業、 国内 バイオマス発電事業
食料・農業	**1,100**	**1,000**	アイルランド 青果物生産・卸売企業（Fyffes社）、 ブラジル 農業資材直販事業
資源・エネルギー **（上流権益を除く）**	**300**	**500**	マレーシア マンガン製造販売事業
資源上流権益	**1,400**	**1,400**	マダガスカル ニッケル事業
合計	**8,900**	**10,000**	

＊ 2017年5月の公表値を記載しております。

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

14. 連結包括利益計算書の概要

住友商事

（単位：億円）	2016年度 実績 (2016/4-2017/3)	2017年度 実績 (2017/4-2018/3)	前期比 金額	前期比 増減率
収益	39,970	**48,273**	+8,303	21%
売上総利益	8,427	**9,565**	+1,138	14%
販売費及び一般管理費	△6,938	**△7,316**	△ 379	△5%
（内、貸倒引当金繰入額）	(△23)	**(△6)**	(+17)	(75%)
利息収支	△17	**△58**	△ 40	△234%
受取配当金	94	**107**	+13	14%
持分法による投資損益	835	**1,497**	+663	79%
有価証券損益	129	**278**	+149	116%
固定資産損益	△197	**△44**	+153	78%
その他の損益	△201	**94**	+296	-
税引前利益	2,131	**4,123**	+1,992	93%
法人所得税費用	△259	**△784**	△ 525	△203%
当期利益	1,872	**3,339**	+1,467	78%
当期利益の帰属：				
親会社の所有者	***1,709***	***3,085***	*+1,376*	*81%*
非支配持分	163	**254**	+91	56%
基礎収益*	1,931	**3,087**	+1,156	60%
包括利益（親会社の所有者に帰属）	1,697	**2,563**	+866	51%

2017年度実績の概要

«売上総利益»
・資源価格上昇の影響
・北米鋼管事業 収益改善
・建機販売 及び ﾚﾝﾀﾙ事業 好調
・大型EPC案件 建設進捗
・不動産事業 堅調
・為替の影響 約＋140 等

«持分法による投資損益»
・資源価格上昇の影響
・ﾘｰｽ事業 堅調
・ﾏﾚｰｼｱｱﾙﾐﾆｳﾑ製錬事業 堅調
・減損損失あり
（当期：ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ商業銀行、前期：ﾁﾘ銅・ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ事業）等

«有価証券損益/固定資産損益/その他の損益»
・当期：資産入替等に伴う一過性利益あり 等
・前期：ﾎﾞﾘﾋﾞｱ銀・亜鉛・鉛事業 税引当あり
減損損失あり（船舶事業、ｴｼﾞｪﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ 等） 等

«法人所得税費用»
・当期：米国税制改正の影響あり
・前期：過年度減損案件に係る税効果の戻り益あり

	2016年度	2017年度	増減	増減率
期中平均ﾚｰﾄ（円/US$）	108.38	110.85	+2.47	+2.3%

＊ 基礎収益＝(売上総利益+販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額)+利息収支+受取配当金)×(1-税率)+持分法による投資損益

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

15. 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

住友商事

(単位：億円)	2016年度 実績 (2016/4-2017/3)	2017年度 実績 (2017/4-2018/3)	前期比	2017年度実績の概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,458	**2,953**	△ 505	«営業活動によるキャッシュ・フロー» ・ｺｱﾋﾞｼﾞﾈｽが着実に資金を創出 ・J:COM、ｼｮｯﾌﾟﾁｬﾝﾈﾙ等 持分法投資先からの配当 ・運転資金の増加
基礎収益キャッシュ・フロー[*1]	2,106	**2,739**	+632	
(内、持分法投資先からの配当)	(1,010)	**(1,149)**	(+139)	
減価償却費及び無形資産償却費[*1]	1,143	**1,189**	+46	
その他（営業資産・負債の増減等）	209	**△975**	△ 1,184	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,807	**△1,558**	+249	«投資活動によるキャッシュ・フロー» ・有形固定資産等の収支 国内ﾊﾞｲｵﾏｽ及び太陽光発電所建設、SCSK設備投資、 米国ｵﾌｨｽﾋﾞﾙ一部売却　等
有形固定資産等の収支	△1,053	**△871**	+182	
投資・有価証券等の収支	△1,121	**△1,042**	+79	・投資・有価証券等の収支 米国ｼﾞｪﾈﾘｯｸ製薬事業への参画、ﾌﾞﾗｼﾞﾙ水事業への参画、 ﾐｬﾝﾏｰ通信事業への追加投資、上場株式売却　等
貸付金の収支	368	**355**	△ 13	・貸付金の収支 欧州自動車金融事業売却　等
フリーキャッシュ・フロー	*1,651*	***1,395***	△ *256*	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,544	**△2,296**	+248	

*1 セグメント情報（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾍﾞｰｽ[*2]）

(単位:億円)	基礎収益キャッシュ・フロー			減価償却費及び無形資産償却費		
	2016年度実績	2017年度実績	前期比	2016年度実績	2017年度実績	前期比
金属	62	**239**	+ 177	135	**130**	△ 5
輸送機・建機	293	**373**	+ 80	424	**425**	+ 0
環境・インフラ	166	**266**	+ 100	44	**52**	+ 8
メディア・生活関連	696	**930**	+ 234	247	**286**	+ 39
資源・化学品	776	**846**	+ 69	212	**202**	△ 10
計	1,994	**2,654**	+ 660	1,063	**1,096**	+ 32
消去又は全社	113	**85**	△ 28	80	**94**	+ 14
連結	2,106	**2,739**	+ 632	1,143	**1,189**	+ 46

*2 海外現地法人・海外支店ｾｸﾞﾒﾝﾄの業績を各事業ｾｸﾞﾒﾝﾄの業績に含めて算出した参考値

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.

16. 連結財政状態計算書の概要

住友商事

（単位：億円）	2016年度末 実績 （2017/3末）	2017年度末 実績 （2018/3末）	前期比
資産	77,618	**77,706**	+88
流動資産	33,212	**34,773**	+1,561
現金及び現金同等物	7,765	**6,672**	△ 1,093
営業債権及びその他の債権	12,064	**12,668**	+604
棚卸資産	8,309	**8,778**	+469
売却目的保有資産	-	**2,477**	+2,477
その他の流動資産	2,532	**1,968**	△ 564
非流動資産	44,406	**42,933**	△ 1,473
持分法で会計処理されている投資	18,709	**19,944**	+1,234
営業債権及びその他の債権	4,725	**3,811**	△ 913
有形固定資産 / 無形資産	11,533	**10,147**	△ 1,385
負債（流動/非流動）	52,748	**50,763**	△ 1,985
営業債務及びその他の債務	11,504	**11,428**	△ 76
有利子負債	34,183	**32,039**	△ 2,144
※ 上段はｸﾞﾛｽ、下段は現預金ﾈｯﾄ後	(26,279)	**(25,215)**	(△ 1,064)
資本	24,870	**26,943**	+2,073
株主資本	23,665	**25,582**	+1,917
株主資本比率	30.5%	**32.9%**	2.4pt改善
DER（Net）	1.1	**1.0**	0.1pt改善

＊「株主資本」は、連結財政状態計算書における「親会社の所有者に帰属する持分」と同じ内容です。

2017年度末実績の概要

■概要

○総資産　7兆7,706億円（前期末比 +88）
- **営業資産(売掛金/棚卸資産 等)の増加(為替除く)**
- **円高による減少 約△1,400**
- **売却目的保有資産(米国ﾀｲﾔ事業)への振替あり　他**

○株主資本 2兆5,582億円（前期末比 +1,917）
- **当期利益 +3,085**　　**・配当 △662**　　**他**

«棚卸資産»
・増加：鋼管事業、不動産事業、貴金属　等
　減少：売却目的保有資産への振替　等

«持分法で会計処理されている投資»
・米国ｼﾞｪﾈﾘｯｸ製薬事業への参画、ﾌﾞﾗｼﾞﾙ水事業への参画、
ﾐｬﾝﾏｰ通信事業への追加投資　等

«営業債権及びその他債権（非流動）»
・ﾘｰｽ債権回収、欧州自動車金融事業売却　等

«有形固定資産/無形資産»
・売却目的保有資産への振替　等

«株主資本»
・利益剰余金 +2,507（18,280←15,773）
・在外営業活動体の換算差額 △770（806←1,576）
・FVTOCIの金融資産 +168（1,898←1,730）

	2016年度	2017年度	増減	増減率
期末ﾚｰﾄ (円/US$)	112.19	106.24	△5.95	△5.3%

Copyright© Sumitomo Corporation All Rights Reserved.